

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能事業所しっぷひろば（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 7日		～ 令和8年 1月 23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 6日		～ 令和8年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 16
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月28日		

○ 分析結果

1	・発達段階や特性に応じた丁寧な個別支援が行えている。	・子どものペースに合わせた無理のない関わりを大切にしている。	・小集団活動への段階的な移行を意識した支援の充実。
2	・安心して過ごせる環境づくりと安定した関係性の構築ができています。	・視覚支援や環境設定を工夫し、わかりやすい環境づくりを行っている。	・支援内容や成長の見える化の推進。
3	・遊びや日常生活を通して基本的な生活習慣やコミュニケーションの力を育む支援ができています。	・保護者へ日々の様子を丁寧に伝え、家庭との共有を図っている。	・職員の専門性向上に向けた研修の充実。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・発達特性が多様であり、集団活動への参加には段階的な支援が必要となる。	・発達段階の個人差が大きく、一律の支援が難しい。	・遊びや日常生活を通して基本的な生活習慣やコミュニケーションの力を育む支援ができています。
2	・保護者支援や関係機関連携において、関わり方に差が生じる場合がある。	・個別支援から集団支援の移行に時間と手がかかる。 ・連携体制や情報共有のしくみが十分でない。	・保護者支援の共通視点や面談体制の整理。 ・関係機関との連携機会の確保と共有の強化。
3			